

アセスメントで下記項目に該当した場合

ナースコールを押さずに勝手に行動しがち
診療・療養上の指示が通らない

85歳以上

はい

起居に介助が必要

自己体動あり

・ 離床CATCH (起き上がり)

★体重が軽く鳴りにくい場合
体重設定を下げて対応

自己体動なし

・ 離床センサーのOFF検討

いいえ

両手をあげて端座位を
保持できない

はい

・ 離床CATCH (起き上がり)

※起きあがれるが、座ってられない患者さん

★センサーで間に合わない場合
超低床ベッド、衝撃緩和マット/床を選択
但し、マットで転倒が誘発されないか注意!

いいえ

両手を胸で組んで
ベッドから起立できない

はい

・ 離床CATCH (端座位)
(荷重制限時:起き上がり)

※座ってられるが、立てない患者さん(立とうとすると転倒)

いいえ

歩行に介助が必要

はい

・ 離床CATCH (端座位)

いいえ

マットセンサー
離床CATCH (離床)

センサー類選択基準

※ 尿意頻回、眠剤の服用開始はハイリスクとなるため
フローに限らず要注意!